

事業手法について

	従来型の公共事業	公設民営方式 (現在の倉敷市の標準)	PFI方式 (玉島市民交流センターで 目指す方式)
建設・整備 (施設を作る人)	公共 (建設工事等は民間に委託)	公共 (建設工事等は民間に委託)	民間 公共は最低限必要なことを決めるのみで、民間は独自のノウハウを柔軟に導入
管理・運営 (施設で働く人)	公共	民間 (指定管理者など) 公共が細かく決めて民間に委託	民間
監視・決定 (物事を決める人)	公共	公共	公共
メリット	○相対的に短期間で事業化が可能	○相対的に短期間で事業化が可能 ○運営・管理に民間ノウハウの活用可能	○多大な初期投資(建設工事費)が不要 ○民間ノウハウを活かしたサービス向上とコスト削減が可能
デメリット	×公共の初期投資・運営管理費の負担大 ×民間ノウハウを反映し難い	×公共の初期投資の負担が大(同左) ×施設計画に運営主体(民間)のノウハウを反映し難い	×従来と異なるため、時間と手間を要する ×きちんと管理・運営されているかのチェックが必要
備考		・民間への管理・運営委託を見据え、事前に運営内容を検討し、施設計画に反映する必要があります。	・受け手となる民間企業がいるかどうか、最低限必要な水準、許容できる範囲、想定されるリスクなど、事業導入の前に詳細な検討を行う必要があります。